

宝石の世界 その15

<パール> その2

その他の真珠

アコヤ貝など養殖にも用いられ、真珠を生み出す貝の多くは二枚貝と呼ばれる貝です。巻貝の真珠は少なく、養殖も難しいことから現在天然の真珠が多く流通しています。

巻貝から採れる真珠

■ コンクパール

カリブ海の大型巻貝のコンク貝。色はピンク～オレンジ、褐色など。

元々は食用で貝ごと加熱していたため、割れたパールがよく見つかったそうです。虹色の真珠層はありませんが、構造による火炎模様の美しさで有名です。しかし、食用や真珠採取のため乱獲され現在はワシントン条約により保護され原産国政府の輸出許可書がない限り輸入は原則禁止。国際間の取引も規制されています。



火炎（フレイム）模様

■ アワビ真珠

アバロン、アバロニパールとも呼ばれます。青や緑の地色に紫・ピンク・ゴールドが混ざった鮮やかな虹色が特徴です。養殖が非常に難しく、ニュージーランドの半形真珠が商業的に確立されている程度です。アメリカやニュージーランドのものは鮮やかな色彩が多く日本やメキシコのものは淡い色のものが多いとされています。



その他

メロ貝から採れる淡いオレンジ色のメロパール、ホタテ貝から採れスキャロップパールなどもありますが、天然採取のため幻のパールと呼ばれています。